

教科目標

化粧品総合学科

1. 養成目的

化粧品業界の現場で顧客のニーズに対応し、新しい化粧品を提案・開発・製造することのできる力を持った職業人になる。

2. 教育目標

化粧品の処方開発、製造、分析、申請等についての専門知識と技術を持ち、共同実習を通じてコミュニケーション力、プレゼンテーション力、問題解決力を養うとともに、化粧品を作り上げることができるようになる。

3. カリキュラム

教育内容		科目	総時間数 (総単位数)
モチベーション プログラム	基礎分野	導入教育ⅠⅡ / パーソナルビジョン / PCスキルⅠⅡ キャリアデザインⅠⅡⅢ / ITスキルⅠⅡ	240 (16)
	専門基礎分野	化学ⅠⅡ / 有機化学 / 機器分析化学 / 化粧品原料化学 / 機能性原料化学 / 香粧品化学 / 香料化学 / 調香化学 / 界面コロイド化学 / 微生物学 / 国際教育語学講座 / 国際教育講座(海外研修) / 皮膚科学 / 化粧品の安全性 / 化粧品マーケティング / 医薬品医療機器等法 / 医薬部外品論	480 (32)
プロフェッショナル プログラム	専門実技分野	化粧品基礎実習 / 化粧品基礎技術実習(生物) / 化粧品基礎技術実習(化学) / 化粧品基礎技術実習(微生物) / スキンケア製品開発実習 / メイクアップ製品開発実習 / ヘアケア製品開発実習 / メイクアップ演習 / 化粧品分析実習 / 化粧品研究開発製造実習ⅠⅡ / 企業連携商品開発演習	1245 (50)
	専門資格分野	有機溶剤作業主任者 / 色彩検定対策講座ⅠⅡ / アロマセラピー検定対策講座 / 化粧品検定講座 / 化粧品成分検定講座	
合計			1965 (98)

※ 卒業・進級に必要な授業時間数 1年次 1065時間(54単位) / 2年次 885時間(43単位)

4. 学年（学期）目標

学年	到達目標
1年 (前期)	【自己分析期】 - 化粧品を学ぶ為の基本となる知識・技術を通し、自己理解をする。 - 基礎実験技術と化学・微生物の知識を習得するとともに、化粧品の専門科目を修得する。 - 他者とコミュニケーションにより、自己認識、他者認識をする。
1年 (後期)	【自己形成第1期】 - 目標とする業界の専門知識・技術を習得し、業界で必要となる資格を取得して、職業人に向けて自己形成をする。 - 化粧品に関する専門知識・技術を身につける。 - 業界の状況を知り、目指すべく職業人像を持つ。
2年 (前期)	【自己形成第2期】 - 専門知識、技術の習得と専門資格の取得により自己肯定感を高め、セルフマネジメント力を身につける。 - 社会人としての身構え・気構え・心構えを身につける。 - 自己分析を通じて就職活動に必要な自己PRができる。 - 業界の即戦力となる力をつけ、就職活動で業界への内定を獲得する。
2年 (後期)	【自己実現】 - 卒業研究を通じて専門技術とコミュニケーション力・プレゼンテーション能力を身につける。 - 卒業研究発表を通じて、社会で即戦力となれる総合的化粧品プロデュースおよびプレゼンテーション能力を発揮し、業界で必要とされる人材となる。

5. 取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
化粧品総括製造販売責任者	必修	国家資格（各都道府県薬務主管課）	卒業時認定
日本化粧品検定	必修	一般社団法人 日本化粧品検定協会	試験
化粧品成分検定	必修	一般社団法人 化粧品成分検定協会	試験
アロマテラピー検定	必修	公益社団法人 日本アロマ環境協会	試験
色彩検定	必修	公益社団法人 色彩検定協会（AFT）	試験
有機溶剤作業主任者	必修	国家資格 （都道府県労働局安全課、労働基準監督署）	講習後、終了試験

6. 就職分野

就職分野	職種	核能力
化粧品会社、原材料会社 受託生産会社（OEM・ODM） 美容関連会社	開発、研究、分析	処方開発、分析、管理 マーケティング
	品質管理、分析、製造	分析、管理、処方開発
	申請、品質保証、流通	法律、管理、コミュニケーション